


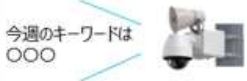



(別紙)

実施内容	取り組み詳細	イメージ図
実施状況の一元管理 (日々の歩数、実施状況)	小型のセンサを専用治具で靴に取り付け、日々の歩数を可視化する 対象者は靴にセンサを取り付けるのみで、操作は必要なし →スマートフォンを使えない高齢者でも利用可	
安全な歩行ルート の策定	あいおいニッセイ同和損害保険(株)が保有する、車のインシデントデータ(急ブレーキなどのデータ)を用い、高齢者が安全に歩行できるウォーキングルートを提供する	 ※赤色が危険エリア
歩行姿勢矯正	歩行姿勢計測及び歩行セミナーを実施し、正しい歩行姿勢を習得する 期間中2回実施し、姿勢の変容を分析する 歩行姿勢は深度カメラを用いたシステムを用いて、自動で評価する	
運動継続の施策	既に三木市に取り付けられているスピーカーからキーワードを放送 キーワードを回答する事でポイント又は参加賞を付与 放送は遠隔から内容を変更し、外出する機会を創出	 今週のキーワードは 〇〇〇
コミュニティの形成	歩行結果を自治会館等で公開することで、高齢者のコミュニティを形成し、 お互いが励まし合う仕組みを構築する ※IDで管理するため個人情報取得しない	
受信機の配備	センサのデータを収集するため、通常街中に受信機を設置する必要がある 可動式の受信機を採用し、インフラ整備に掛かる費用を削減	